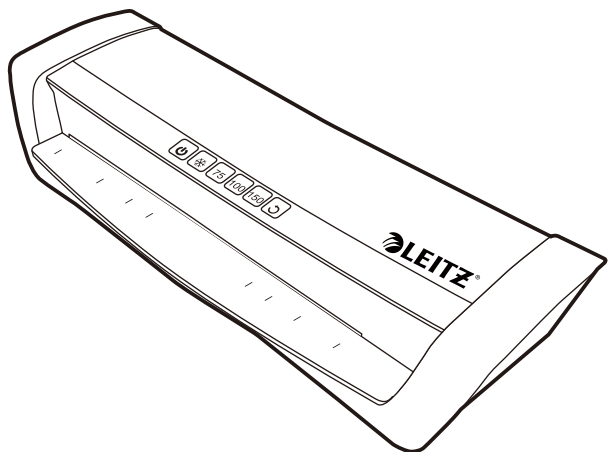


取扱説明書

アイラム オフィス プロ A3 iLAM Office Pro A3



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目次

| | |
|---------------|----|
| 1.内容物の確認 | 1 |
| 2.ご使用上の注意 | 2 |
| 3.各部の名称と働き | 4 |
| 4.ラミネート作業上の注意 | 6 |
| 5.操作方法 | 9 |
| 6.お手入れ方法 | 14 |
| 7.こんなときは | 15 |
| 8.製品仕様 | 16 |

◆保証とサービス

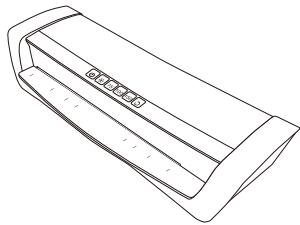
お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。
- ★本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

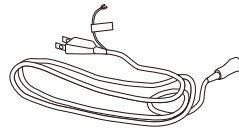
1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

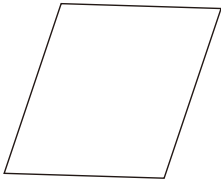
マシン本体



電源コード（アース端子付き）



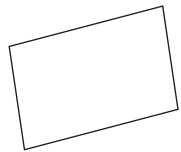
クリーニングペーパー



取扱説明書（本書）



ラミネーター使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
※発火する恐れがあります。

3・各部の名称と働き



万一、煙が出たり、変な臭いがあるなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。
※火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



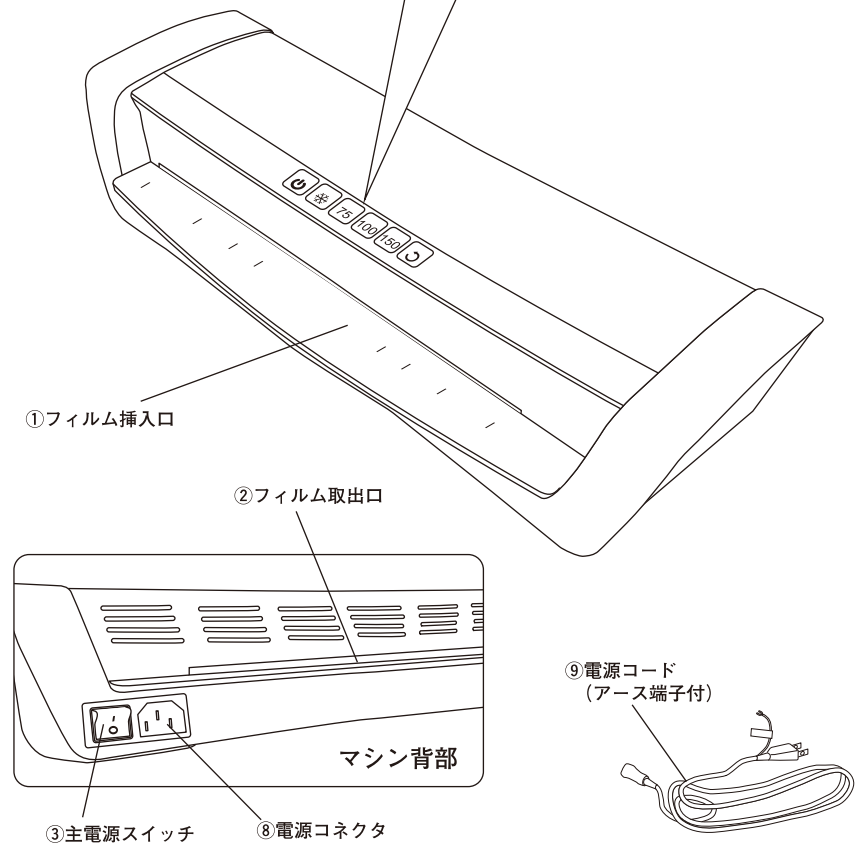
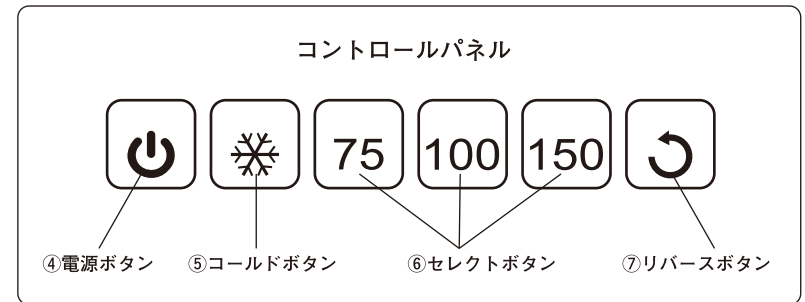
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。



電源は、延長コードを含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※感電や発熱による火災の原因になります。



①フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

②フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

③主電源スイッチ

このボタン押して、主電源をオン(Ⅰ)・オフ(○)します。使用しない場合は、必ずオフ(○)にしてください。

④電源ボタン

主電源スイッチをオン(Ⅰ)した後、電源ボタンにタッチして、電源をオン・オフします。電源ボタン(青)が点滅します。自動的にホットラミネートモードが設定されて、セレクトボタン[75]も点滅します。使用しない場合は、このボタンにタッチして必ずオフにしてください。

⑤コールドボタン

コールドラミネートする場合は、このコールドボタンをタッチしてください。電源ボタン(青)とコールドボタン(青)が点滅から点灯に変わりましたら、コールドラミネートが可能になります。

⑥セレクトボタン

ラミネートに使用するフィルム厚に合わせて、セレクトボタン[75]・[100]・[150]のどれかをタッチしてください。75 μ mフィルム使用時→[75]、100 μ mフィルム使用時→[100]、150 μ mフィルム使用時→[150]をタッチします。電源ボタン(青)とセレクトボタン(青)が点灯したらラミネート可能になります。

⑦リバースボタン

ジャミング(紙詰まり)が発生した場合、このリバースボタンをタッチしてください。リバースボタン(青)が点灯してローラーが逆転していることを表します。フィルム挿入口から詰まった加工物を取りだしてください。終了しましたら、リバースボタンをタッチしてリバースボタン(青)を消してください。

⑧電源コネクタ

電源コネクタに、付属の電源コードを差し込んでください。

⑨電源コード(アース端子付)

マシン本体背面の電源コネクタに付属の電源コードを差し込み、電源コードのアース端子をアース接続した後に、必ずAC100Vのコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

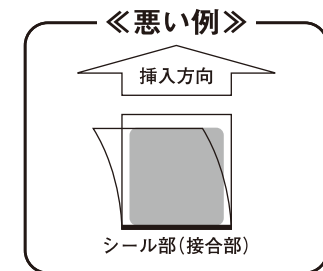
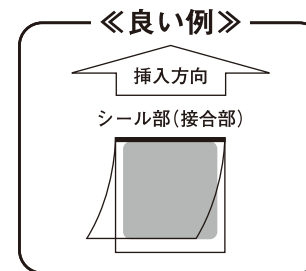
- ★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。
- ★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ★ フィルムを含めて厚さ0.6mm以上になるものはラミネートしないでください。
- ★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

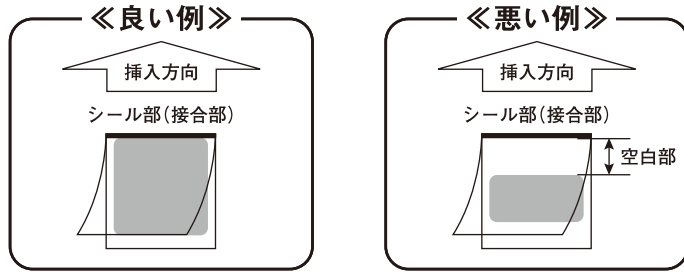
ラミネートするとき

重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

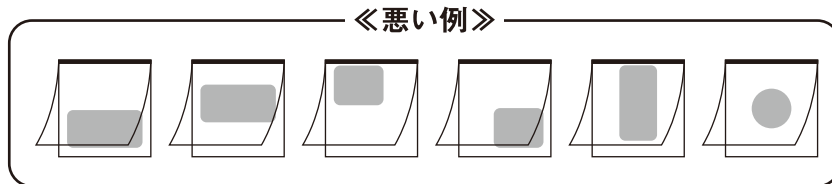
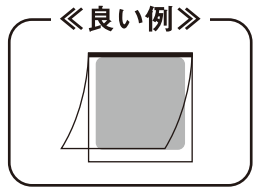
- ★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



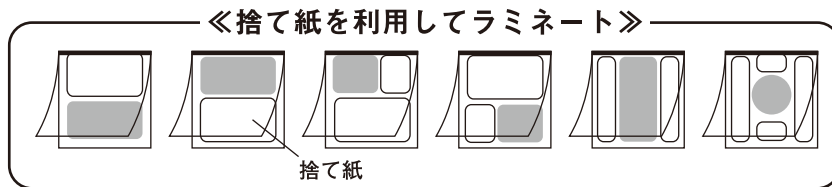
- ★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



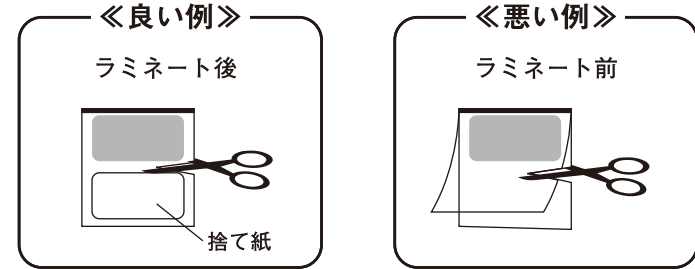
- ★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
 ※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
 ※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
 余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
 ※凹凸のあるものはラミネート加工には適していません。故障の原因となります。



対処法



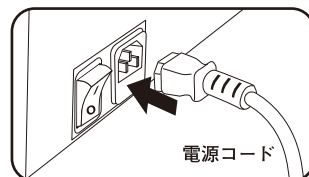
- ★ ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。



| | |
|-------------|---|
| ⚠ 注意 | |
| | 間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。) |

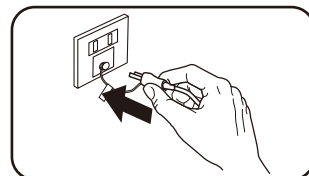
5・操作方法

- ①付属の電源コードをマシン背面にある電源コネクタに奥まできちんと接続してください。

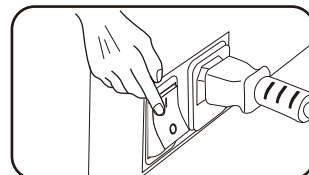


★必ず付属の電源コードを使用してください。

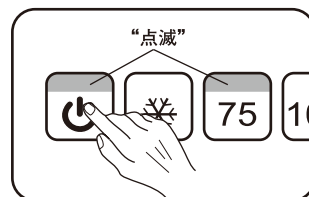
- ②主電源スイッチがオフ“O”になっていることを確認してください。アース端子をアース接続した後にコンセント(AC100V)に差し込んでください。



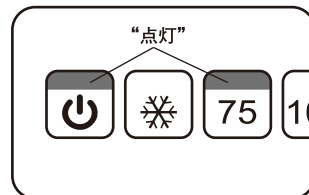
- ③マシン背面にある電源スイッチをオン“I”にしてください。



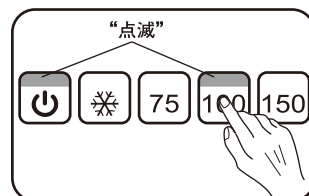
- ④電源ボタンにタッチしてください。電源ボタン(青)とセレクトボタン【75】(青)が点滅します。自動的にホットラミネートモード【75】に設定されています。ホットラミネートのウォームアップがスタートします。



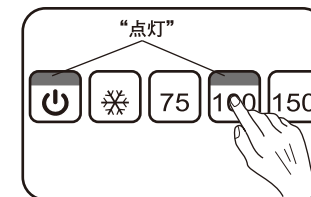
- ⑤約60秒後、ウォームアップが完了しますと、電源ボタン(青)とセレクトボタン【75】(青)が点灯して、ホットラミネート可能なことを表します。



- ⑥ラミネートに使用するフィルム厚が100 μ mの場合はセレクトボタン【100】を、150 μ mの場合はセレクトボタン【150】をタッチしてください。ウォームアップがスタートします。



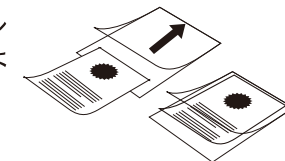
- ⑦ウォームアップが完了しますと、電源ボタン(青)とセレクトボタン【100】(青)が点灯して、ホットラミネートが可能になります。



※特別な加工物とフィルム厚の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

重

★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。

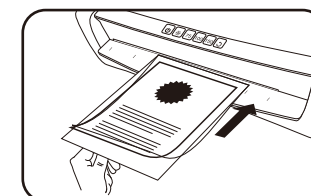


要

★「加工可能」の文字非表示時は、ラミネート用フィルムを通さないでください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

- ⑧フィルムガイドをサイズに合わせて、シールされた側からフィルムをガイドに沿ってフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



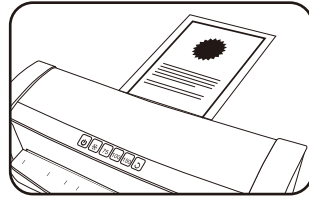
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、「オフ」にして取り除いてください。

注意

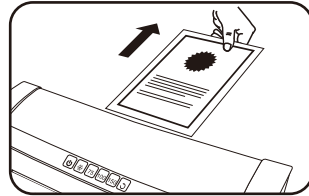


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

⑨パウチフィルムがマシン後面のフィルム取出口から出てきます。



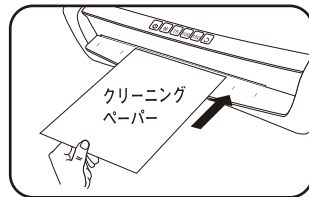
⑩ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



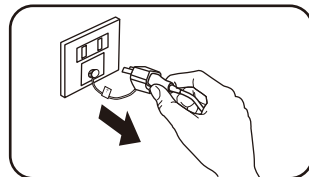
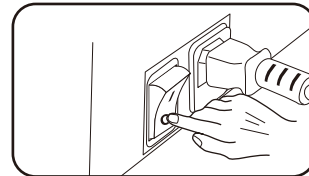
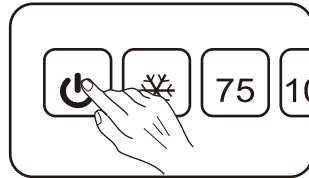
連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑪ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返ししてください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



⑫ローラークリーニングが終了したら、電源ボタンにタッチして電源を切ってください。主電源スイッチをオフ(○)にして、必ずコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



ローラークリーニング

- ★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。
- ★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙)を使用してください。
- ★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

オートシャットオフ機能

- ★電源が入ったまま約30分以上ご使用されない場合は、スタンバイ状態になり、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は電源ボタンにタッチして電源を入れ直してご使用ください。

コールドモード

- ★コールドラミネートする場合はコールドボタンをタッチして、コールドモードを選択してください。コールドボタン(青)が点灯します。



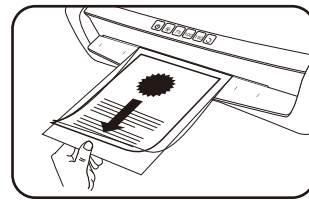
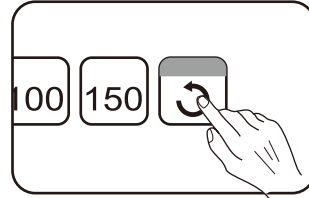
- ★コールドラミネートする場合は、電源をオンにした直後にコールドボタンをタッチしてください。電源をオンにしますと、自動的にヒーターのウォームアップがスタートしますのでご注意ください。

- ★コールドラミネートする場合は、必ずコールドラミネート専用フィルムをご使用ください。

フィルム詰まりトラブル解消方法

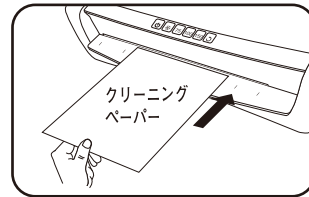
フィルムが詰まった場合は下記の手順で、詰まったフィルムを手で引き戻してください。

- ①逆転ボタンをタッチしてください。ローラーが逆転しますので、詰まったフィルムを手で引き戻してください。



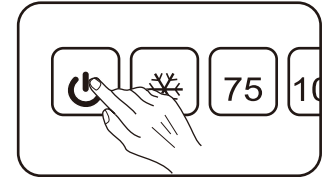
- ②詰まったフィルムが投入口から排出されたら、必ずローラーをクリーニングしてください。

12ページのローラークリーニングの説明を参照。

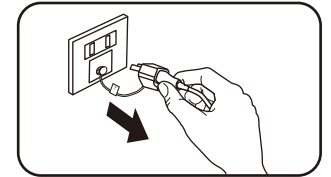
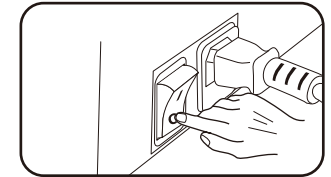


6・お手入れ方法

- ①電源ボタンにタッチして電源を切ってください。

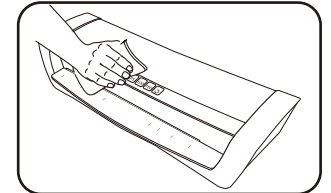


- ②主電源スイッチをオフ(○)にして、電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



- ③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

7・こんな時は

| 現象 | 原因 | 対処法（参照ページ） |
|----------------------|--|--|
| 電源が入らない | ◇電源コードが正しく接続されていますか？ ◇主電源スイッチが入っていますか？ ◇電源ボタン（青）が“点灯”していますか？ | 電源コードを正しく電源コネクタとコンセントに接続してください。 マシン背面の主電源スイッチをオン“1”にしてください。（9ページ） 電源ボタンをタッチして、電源ボタン（青）を“点灯”させください。（9ページ） |
| ホットラミネートができない | ◇セレクトボタン（青）【75】【100】【150】が“点灯”していますか？ ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？ | セレクトボタン（青）“点滅”から“点灯”に変わるまでお待ちください。（9ページ） クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ） |
| ラミネートフィルムがはがれる | ◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？ | 紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（6ページ） |
| ラミネートされた加工物が波を打っている | ◇ラミネート温度が高すぎます。 | 使用しているフィルム厚（例：100mic）よりも低い設定（例：75）してラミネートしてください。（10ページ） |
| ラミネートされた加工物の表面が曇っている | ◇ラミネート温度が低すぎます。 | 使用しているフィルム厚（例：100mic）よりも高い設定（例：150）してラミネートしてください。（10ページ） |
| ラミネートフィルム表面が汚れる | ◇ローラーのクリーニングをしていますか？ | 同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（11ページ） |
| ラミネートフィルムが取出口から出てこない | ◇パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | リバースボタンをタッチして、フィルム挿入口側から詰まった加工物を戻してください。（13ページ） |

8・製品仕様

| 商品名 | アイラム オフィス プロ A3 |
|--------------------|---------------------------------|
| | i LAM Office Pro A3 |
| 品番 | LLMOPA3 |
| サイズ(W) x (D) x (H) | 500 x 222 x 115 mm |
| 質量 kg | 4.4 kg |
| 電源 | AC 100 V, 50/60 Hz |
| 定格消費電力 | 1,250 W |
| 最大ラミネート幅 | A3 |
| 最大ラミネート厚 | 0.6 mm |
| 最大使用フィルム厚 | 150 μm |
| ラミネート速度 | 420mm/分 [50Hz] / 490mm/分 [60Hz] |
| 加熱方式 | 外部加熱方式 |
| ウォームアップ時間 | 約 60 秒 (75μm設定時) |

保証とサービス

- ★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。
- ★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

- (1) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
 - d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - e 本書の掲示のない場合。
 - f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。
- (2) ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。
- (3) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- (4) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

- (5) 補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせていただきます。
- (6) 製造中止後5年を超えますと、修理対応を終了致します。

修理メモ

| |
|--|
| |
|--|

お客様相談窓口：野田サービスセンター 04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。